

令和4年度 船橋の台所事情



船橋市の予算をわかりやすく説明します



船橋市

もくじ

予算の基礎知識	3
一般会計歳出	5
一般会計歳入	8
市民生活に身近な予算の内訳	10
船橋市の家計簿	11
船橋市の財政状況	12
令和4年度予算の主要事業	18
健全な財政の維持	20

予算の基礎知識

「予算」とはなに？

1年間のお金の使い道、それが予算です。

市では、お金の使い道を毎年4月から翌年の3月までの年度単位で考えます。

この1年間に市に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内で市が行っているいろいろな仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）にどのくらいのお金を使うかという支出の計画を立てます。これを「予算」といい、市の仕事は、この予算に従って行われます。

予算はどのように決めるの？

収入

市民の皆さんに納めていただく税金、公民館やスポーツ施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるのかという見積もりをします。

支出

日頃、市民の皆さんから寄せられる意見や要望も取り入れながら、次年度の仕事の予定を立て、その仕事に必要な金額を見積もります。見積もった収入ですべての仕事ができればいいのですが、とても収入の範囲には収まりません。

そこで、市民生活を守るために緊急性や必要性が高いかどうか検討し、優先度が高いと判断したものについて、第三次総合計画との整合を図りながら次年度に行う仕事を決め、予算案を作成します。

お金の使い道を決めることはとても大切なので、市民の代表で構成される市議会で審議してもらい、議決を受けてはじめて予算が決まります。

市役所の作業	予算編成方針	8月
	予算要求	10月
	市長査定	1月下旬

予算案提出

市議会の審議	予算案審議	2月下旬
	当初予算成立	3月下旬

議決

決まった予算は変えられないの？

4月から翌年の3月までの1年間の予算は、3月に市議会での議決を受けて決まります。これを「当初予算」と言います。

しかし、年度の途中で国が新たな制度を作ったり、台風などの災害が起こったり、社会情勢の変化や想定できなかったことが生じることもあります。

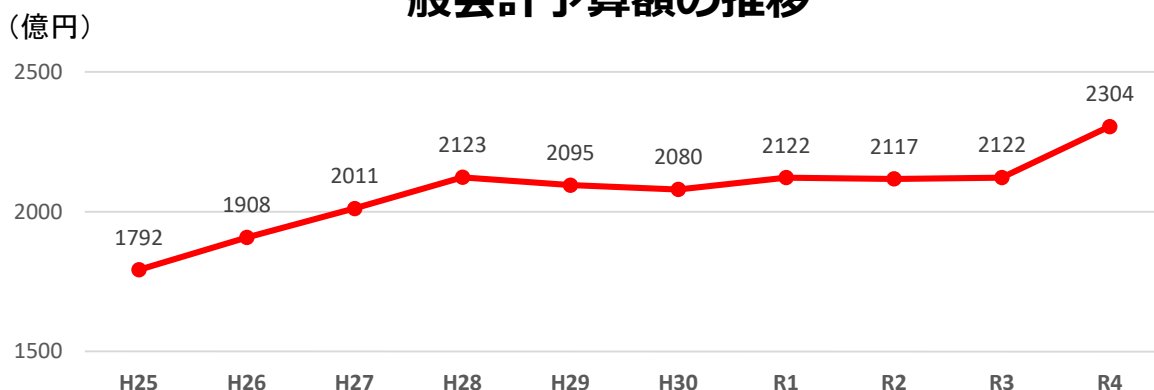
年度の途中でも、その変化や想定外のことに対応するために、追加の予算を作ります。これを「補正予算」と言います。補正予算も当初予算と同じく市議会の議決を受けて決まります。

予算の規模と会計の仕組み

一般会計

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計です。一般的に市の予算と言えば「一般会計」をさし、市税を主な財源としています。令和4年度の予算規模は、2304億4000万円で前年度比8.6%増となりました。新型コロナウイルス対策経費の増加に伴い、過去最大の予算規模となりました。

一般会計予算額の推移



特別会計

特定の収入（国民健康保険料、介護保険料など）がある、特定の目的のための予算を経理する会計を「特別会計」と言います。

お金の出し入れをわかりやすくするために一般会計と財布を分けて管理します。

区分		令和4年度予算額
特別会計	国民健康保険事業	508億2600万円
	公共用地先行取得事業	900万円
	船橋駅南口市街地再開発事業	6億5900万円
	介護保険事業	466億5100万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	9100万円
	後期高齢者医療事業	87億5200万円
	計	1069億8800万円

公営企業会計

市が企業的性格を持った事業（市場、病院、下水道）を経営するための予算を経理する会計を「公営企業会計」と言います。事業の収入を主な財源としています。

特別会計と同様にお金の出し入れをわかりやすくするために、一般会計や特別会計と財布を分けて管理します。

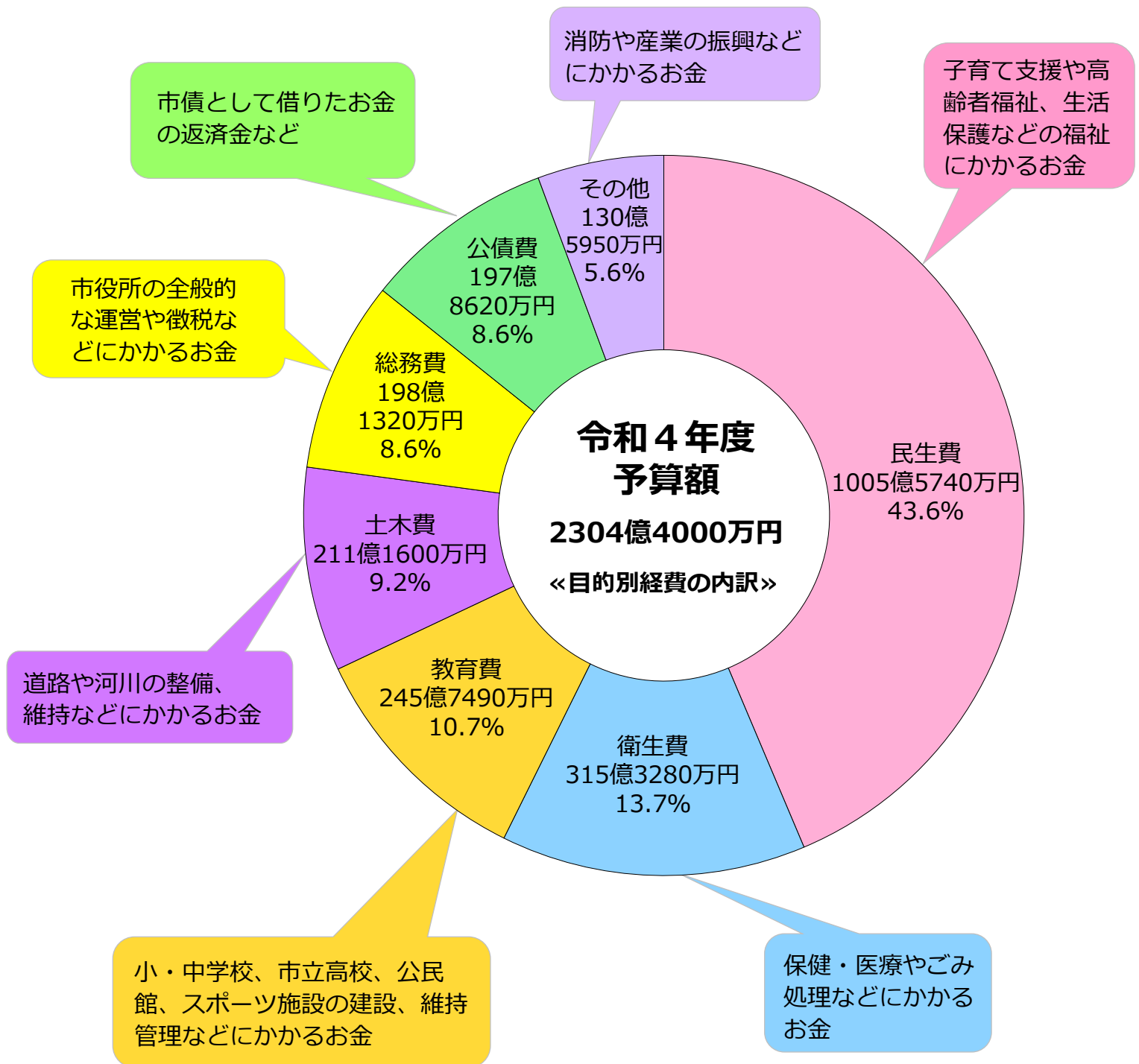
区分		令和4年度予算額
公営企業会計	地方卸売市場事業	11億3000万円
	病院事業	209億6100万円
	下水道事業	358億7555万円
	計	579億6655万円

一般会計歳出

市の支出にはどんなものがあるの？

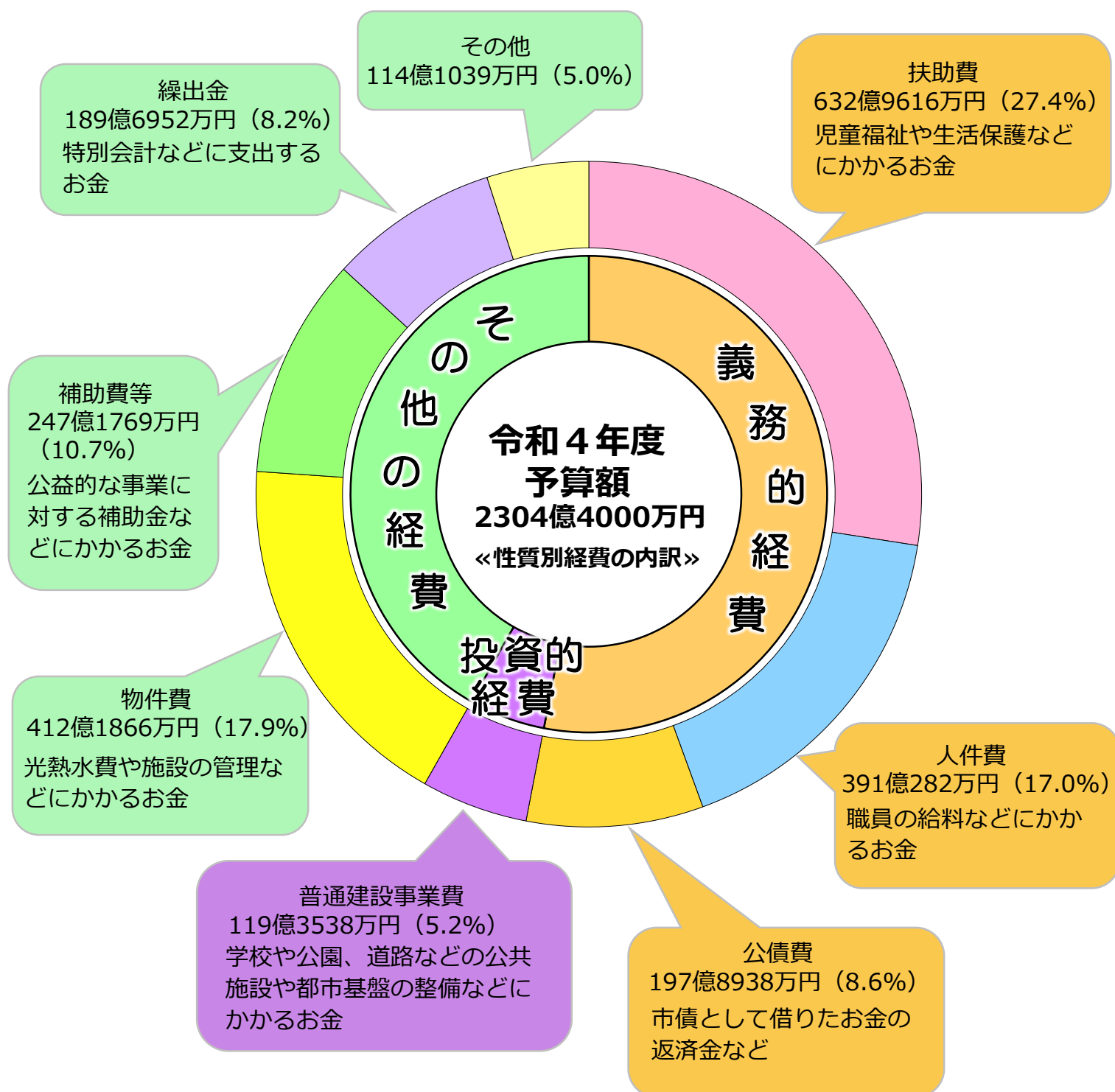
目的別経費による内訳

市の歳出（1年間の市の支出）を経費の目的に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



性質別経費による内訳

市の歳出を経費の性質に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



義務的経費・投資的経費とは…

義務的経費・・・法令などにより支払いが義務付けられていて、減らすことが難しい経費

投資的経費・・・道路、橋、公園、学校などの建設や大規模な修繕などの経費

性質別経費の推移

予算額を10年前と比較すると歳出全体で568億円も増えています。そのうち最も増加額の大きい義務的経費である扶助費は、保育所にかかる経費や障害者への給付などの社会保障経費の増加により、10年前に比べ約187億円増加しています。

一般会計 歳出予算額の推移（性質別）

（億円）



一般会計歳入

市の収入にはどんなものがあるの？

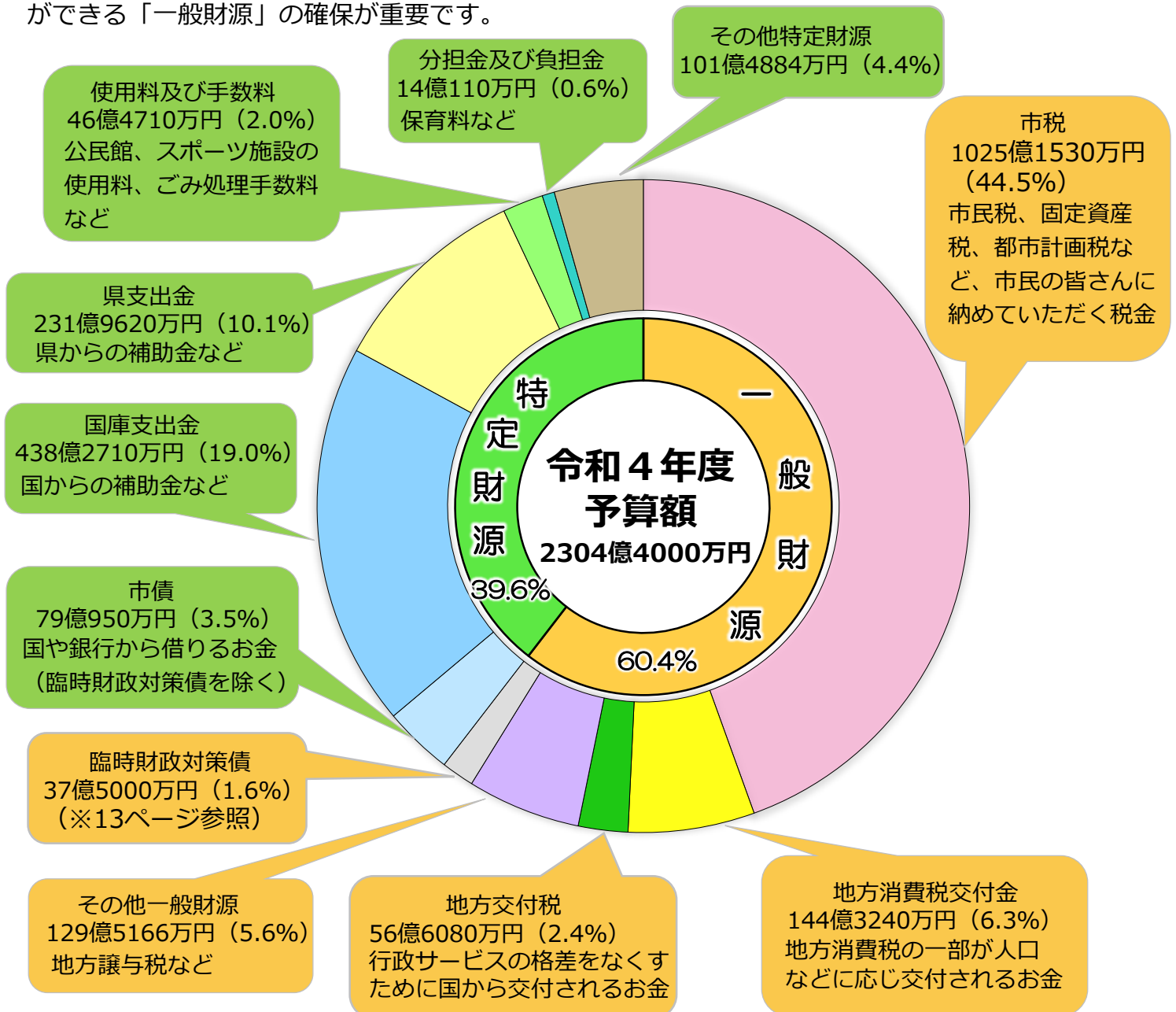
市の歳入（1年間の市の収入）のうち、最も大きいものは「市税」です。また、国や県からもらう「国庫支出金」や「県支出金」、借入金である「市債」などがあります。

これらの収入は、使い道が自由な「一般財源」と使い道が決められている「特定財源」に分けられます。

一般財源は、市が受け取る時点で使い道があらかじめ決まっていないお金のことで、市税や地方交付税などです。

特定財源は、市が受け取る時点で使い道が決められているお金のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金や、公共施設の改修工事などに使うため、国や銀行から借りる市債などです。

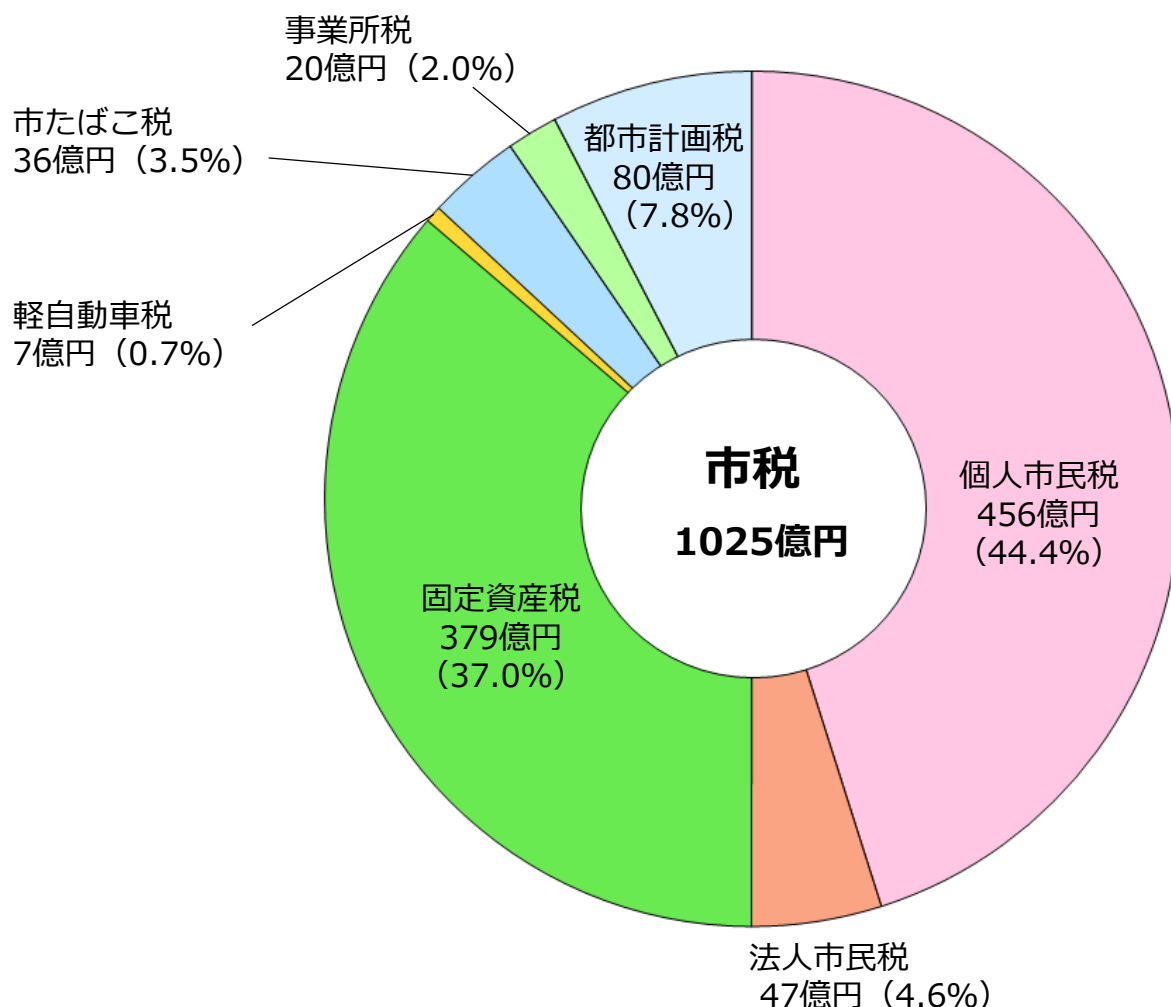
市民の皆さんの様々なニーズにお応えする仕事を行うためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。



市税の概要

市税は、市の歳入の約半分を占めています。その内訳は、「個人市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。市税の中では、景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから比較的変動の少ない歳入構造が本市の特徴です。

市税の内訳



個人市民税 市民の皆さんに納めていただく税金

法人市民税 市内に事業所等がある法人に納めていただく税金

固定資産税 土地・家屋・償却資産（事業用の機械など）にかかる税金

軽自動車税 軽自動車や原付バイクなどにかかる税金

市たばこ税 たばこの製造業者などが市内の小売販売者に売り渡した「たばこ」にかかる税金

事業所税 都市環境の整備等の費用に充てるため事業所等に納めていただく税金

都市計画税 下水道・道路などを整備する都市計画事業の費用に充てるための税金

市民生活に身近な予算の内訳

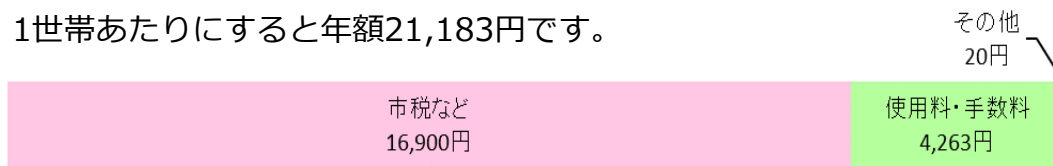
皆さんが納める税金や国や県からの補助金がどんな事業にどのくらい使われているかを市民生活に身近な予算を例に紹介します。

①ごみの収集・処理にかかる予算

ごみの収集や焼却にかかる人件費や清掃工場の運営費などで年間62億円かかります。

世帯数294,812世帯（令和4年4月現在）

1世帯あたりにすると年額21,183円です。

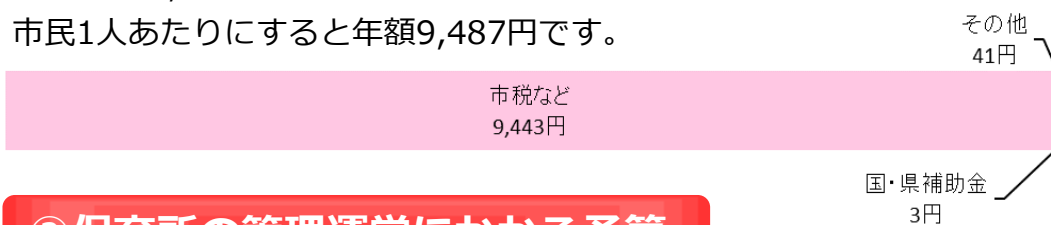


②消防・救急にかかる予算

消防活動や救急活動にかかる人件費や消防車両の維持費などで年間61億円かかります。

人口644,697人（令和4年4月現在）

市民1人あたりにすると年額9,487円です。



③保育所の管理運営にかかる予算

認可保育所の管理運営にかかる人件費や施設の維持費などで年間204億円かかります。

入所児童数11,786人（令和4年4月現在）

入所児童1人あたりにすると年額1,728,773円です。

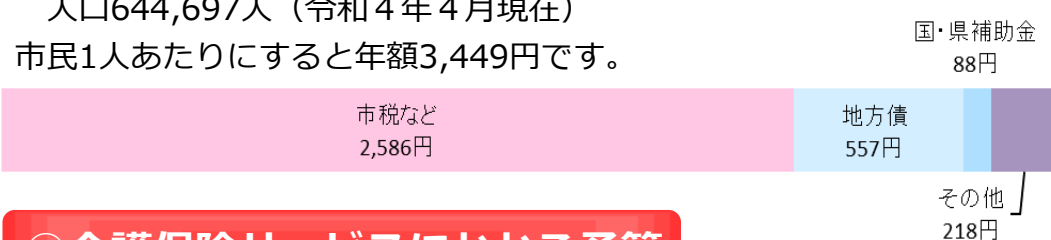


④公園の整備・維持管理にかかる予算

公園の整備や維持管理にかかる費用などで年間22億円かかります。

人口644,697人（令和4年4月現在）

市民1人あたりにすると年額3,449円です。



⑤介護保険サービスにかかる予算

介護サービス・介護予防の実施等にかかる費用などで年間467億円かかります。

要介護・要支援認定者数30,694人（令和4年推計）

対象者1人あたりにすると年額1,519,874円です。



船橋市の家計簿

市の予算額（一般会計）は、2304億4000万円と非常に大きいため、額を縮小して市の予算を家計簿に置き換えてみました。給与年収433万円（※）（給与月収36万1000円）であらわしてみました。

毎月の収入	毎月の支出
給 与 361,000円 (うち基本給〈市税〉:196,000円) (うち諸手当〈地方譲与税、地方消費税交付金、国・県支出金など〉:165,000円)	食 費 75,000円 人件費
家 賃 収 入 47,000円 分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など	医 療 費 など 121,000円 扶助費
親からの仕送り 11,000円 地方交付税	光 熱 水 費 や 電 話 代 などの 生 活 費 148,000円 物件費、補助費等、維持補修費
借 入 金 22,000円 市債 (うち増改築のローン:15,000円) (うち生活費等(臨時財政対策債):7,000円)	子 ども へ の 仕 送 り 36,000円 他会計への繰出金
	家 の 増 改 築 費 23,000円 普通建設事業
	ロ ー ン (借 金) の 返 済 38,000円 公債費
合 計 441,000円	合 計 441,000円

※年収433万円は、国税庁が調査した令和2年分民間給与実態統計調査の平均給与額

船橋市の財政状況

市の貯金、借金などの状況や、市の財政の健全化を図る指標を他市との比較を交え説明します。

船橋の財政状況はいいの？

平成19年に、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

自治体財政の早期健全化や再生の必要性を判断する「健全化判断比率」として、4つの財政指標があります。

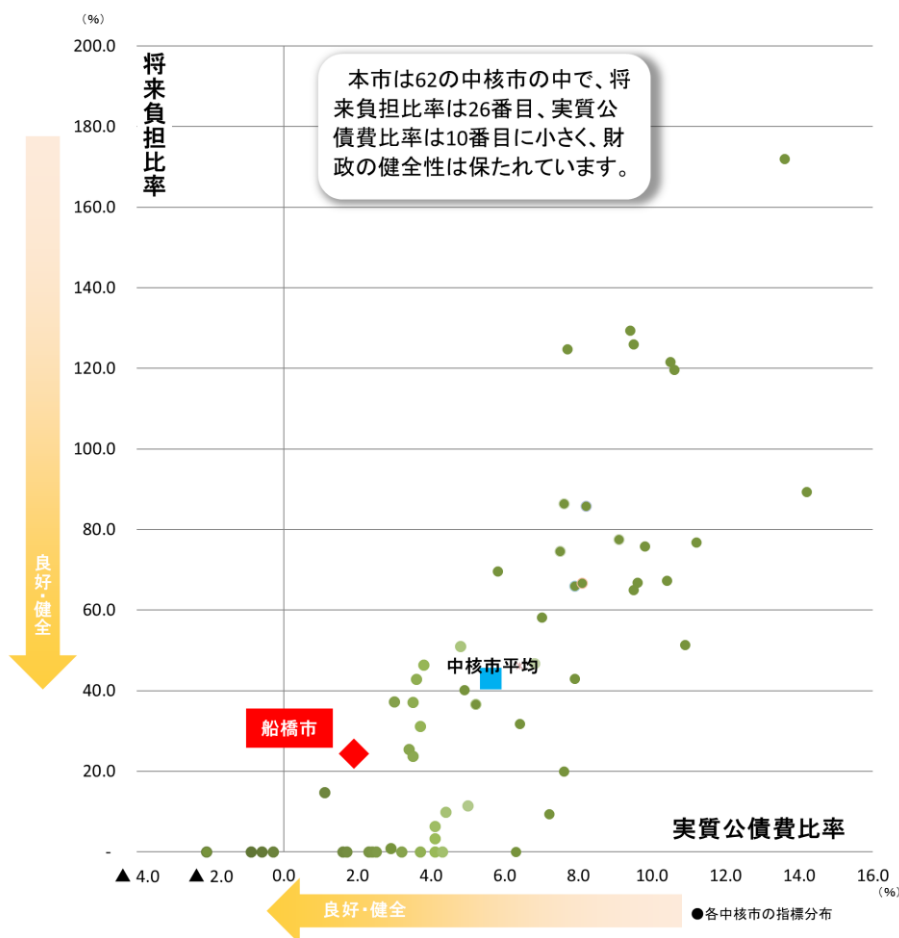
これらの指標のうち1つでも国が定めた基準（早期健全化基準）以上の数値になった場合には、財政健全化計画を策定し、財政状況改善の方策を議会の承認を受けたうえで公表する必要があります。船橋市は現在のところ、いずれの指標もこの基準を下回っています。このうち特に大切な2つの指標を説明します。

健全化判断比率

（令和2年度決算 単位：％）

指標	船橋市	中核市平均	早期健全化基準
実質公債費比率	1.9	5.6	25.0
将来負担比率	24.3	42.9	350.0
実質赤字比率	-	-	11.25
連結実質赤字比率	-	-	16.25

実質公債費比率と将来負担比率における他の中核市との比較 （令和2年度決算）



実質公債費比率

収入に対する公債費の占める割合で、数字が小さいほどその年度の借金返済額が少ないということです。令和2年度決算では1.9%となっており、県内54市町村中8番目に小さく、全国の中核市62市中でも10番目の小ささです。

将来負担比率

市の実質的な借金が歳入の何年分かを示したもので、数字が小さいほど将来負担が少ないことを示しています。近年は、清掃工場の建替えや塚田南小学校の建設などで、借金の総額が徐々に増えてきたことなどにより令和2年度決算では24.3%となりました。

中核市平均や早期健全化基準と比べまだまだ小さい数値となっており、今後も同程度の数値で推移することが見込まれます。将来の財政需要に備えるため、今後も堅実な財政運営が必要となっていきます。

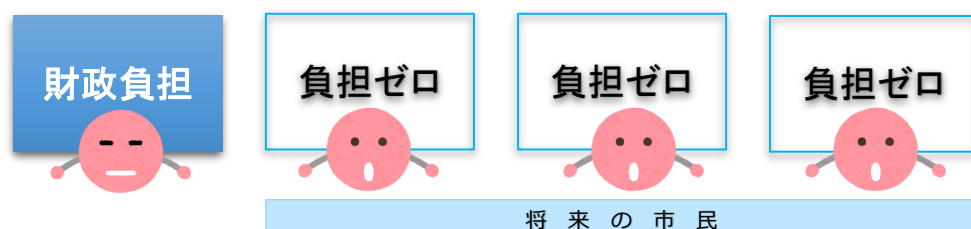
なぜお金を借りるの？

「借金は少ない方が良い」と考えるのは当然ですが、学校や公園などの公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの費用を1年間の予算だけで賄ってしまったら、その1年は他の仕事ができなくなってしまいます。

また、学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、1年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに施設を利用できることになります。

そこで、「市債」という借金をして、1年間の整備費用の負担を小さくし、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の市民に整備費用を公平に負担してもらうことができます。

市債(借金)を活用しないと・・・公共施設を整備する年度の市民が全額負担し、将来の市民は負担なし



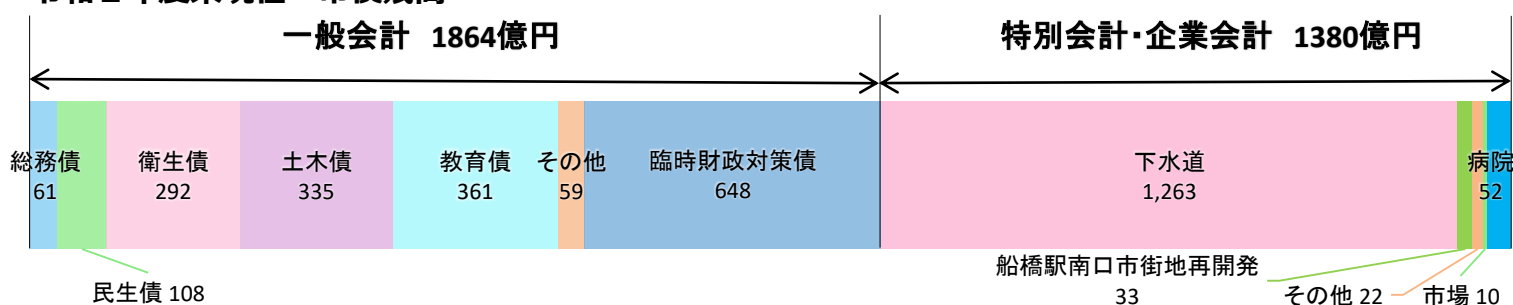
市債(借金)をして・・・将来の市民も整備費用を公平に負担します



今までいくら借りて、何に使ってきたの？

市債の残高は、令和2年度末に、一般会計で1864億円、全会計で3244億円となっています。その使い道は、学校や道路、公園、下水道、医療センターといった施設の整備や改修が中心です。近年は、小・中学校等の公共施設の大規模改修や清掃工場の建替などに多く使われています。また、「臨時財政対策債」の残高が大きくなっています。

令和2年度末現在 市債残高



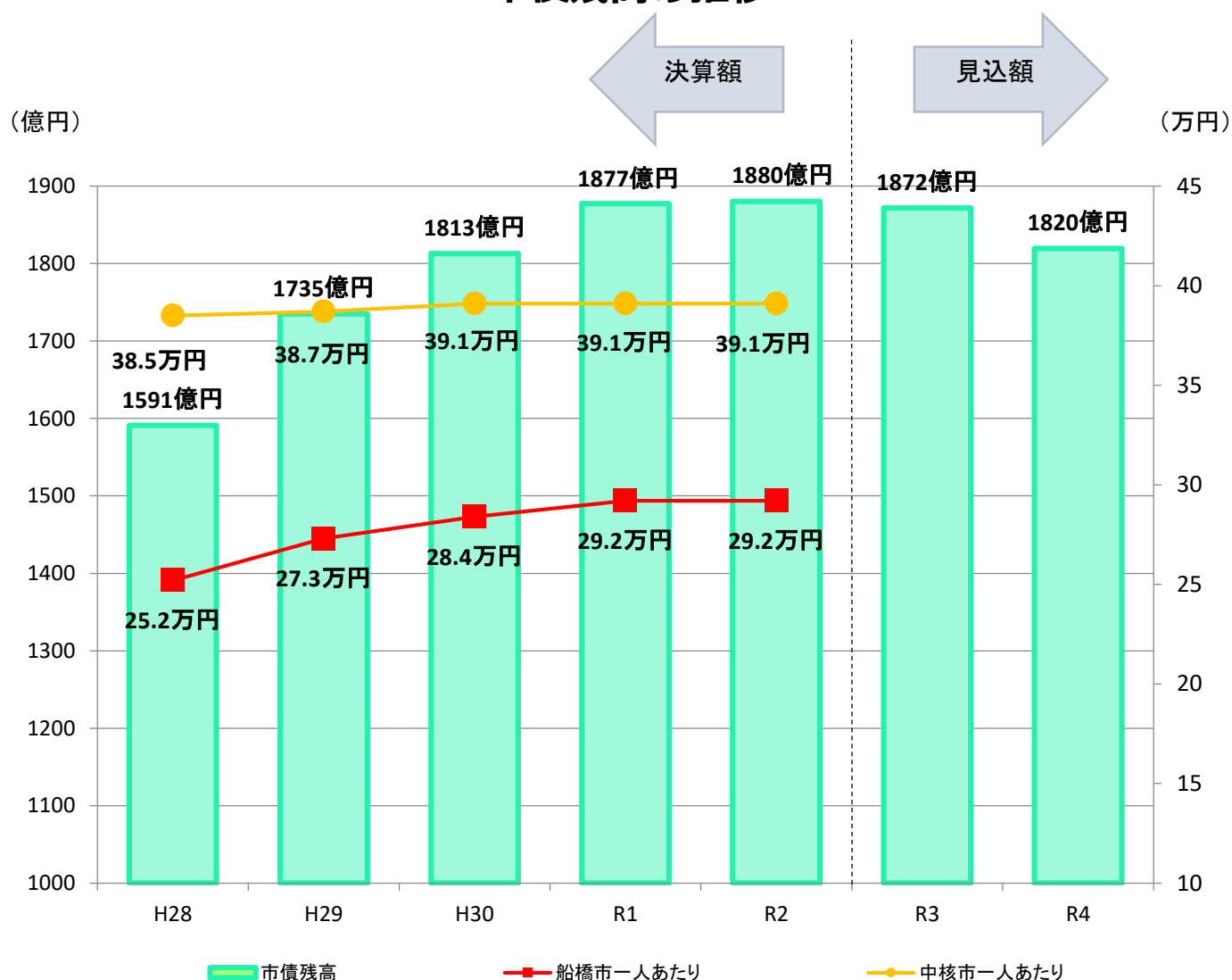
- **総務債**……………出張所、防災施設の整備、東葉高速鉄道への出資など
- **民生債**……………障害者・老人・児童福祉施設、保育所の整備など
- **衛生債**……………清掃工場、保健福祉センターの整備など
- **土木債**……………道路、橋りょう、公園、河川の整備など
- **教育債**……………小・中学校、高等学校、公民館の整備など
- **臨時財政対策債**…国が地方に交付する地方交付税の一部について、市が代わりに借金するもの。返済にかかる費用は将来の地方交付税に加算されて交付されます。

近年の市債の残高は？

令和2年度末の市債残高は1880億円（※普通会計）で、人口1人あたりの金額は291,551円となります。これは全国の中核市62市（平均391,363円）の中では18番目に少ない額となります。

近年、小・中学校等の公共施設の大規模改修や清掃工場の建替の財源、臨時財政対策債の発行により増加していましたが、行財政改革推進プランにおいて普通建設事業に優先順位を付けて事業の精査を行ったこと等により、令和2年度をピークに市債残高は減少予定です。

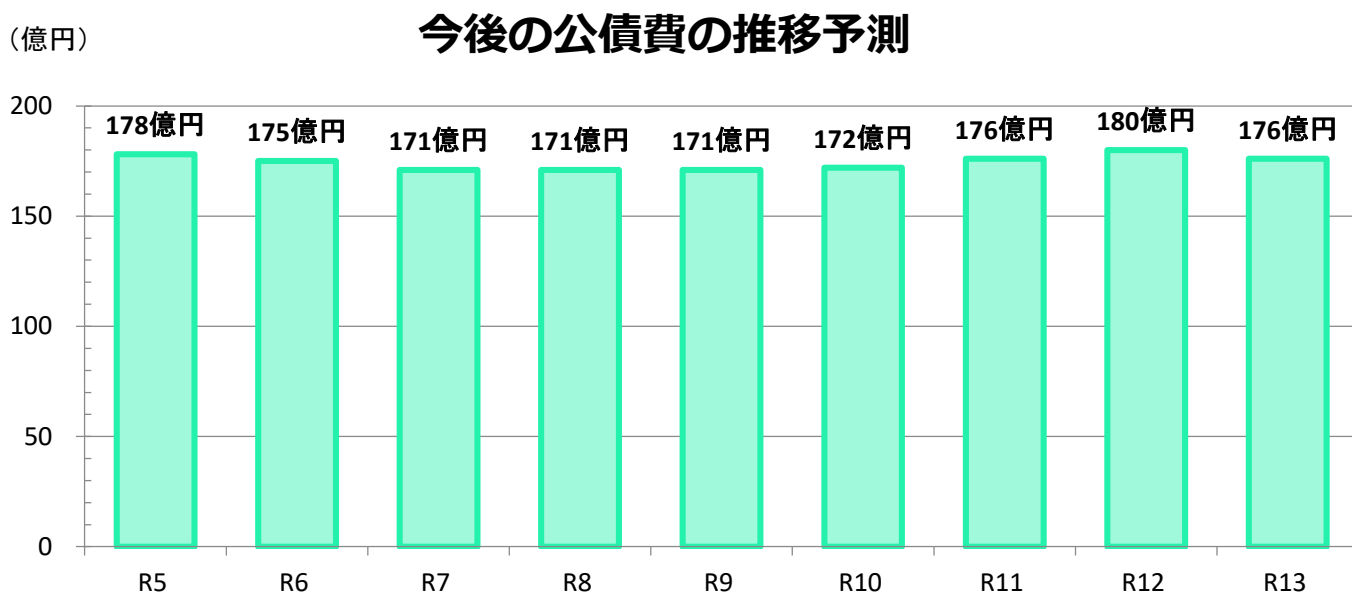
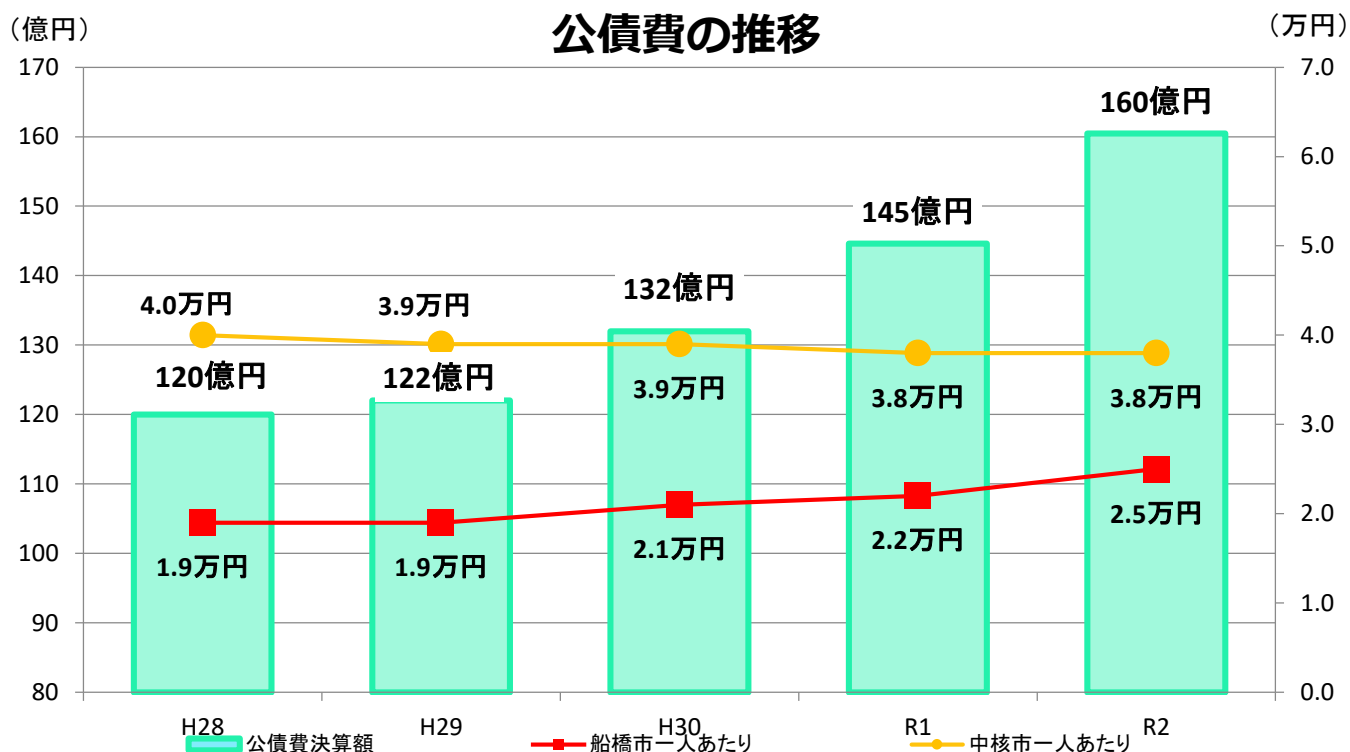
市債残高の推移



普通会計ってなに？

全国の自治体の予算の作り方をみると、介護サービス事業や区画整理事業などを一般会計で行ったり、特別会計や企業会計で行ったりとバラバラな部分があります。

そこで、自治体間で比較できるようにした統一的な基準となる会計区分を「普通会計」と言います。



返済は大丈夫なの？

市債の返済金を「公債費」といい、市税などの一般財源で返済しています。

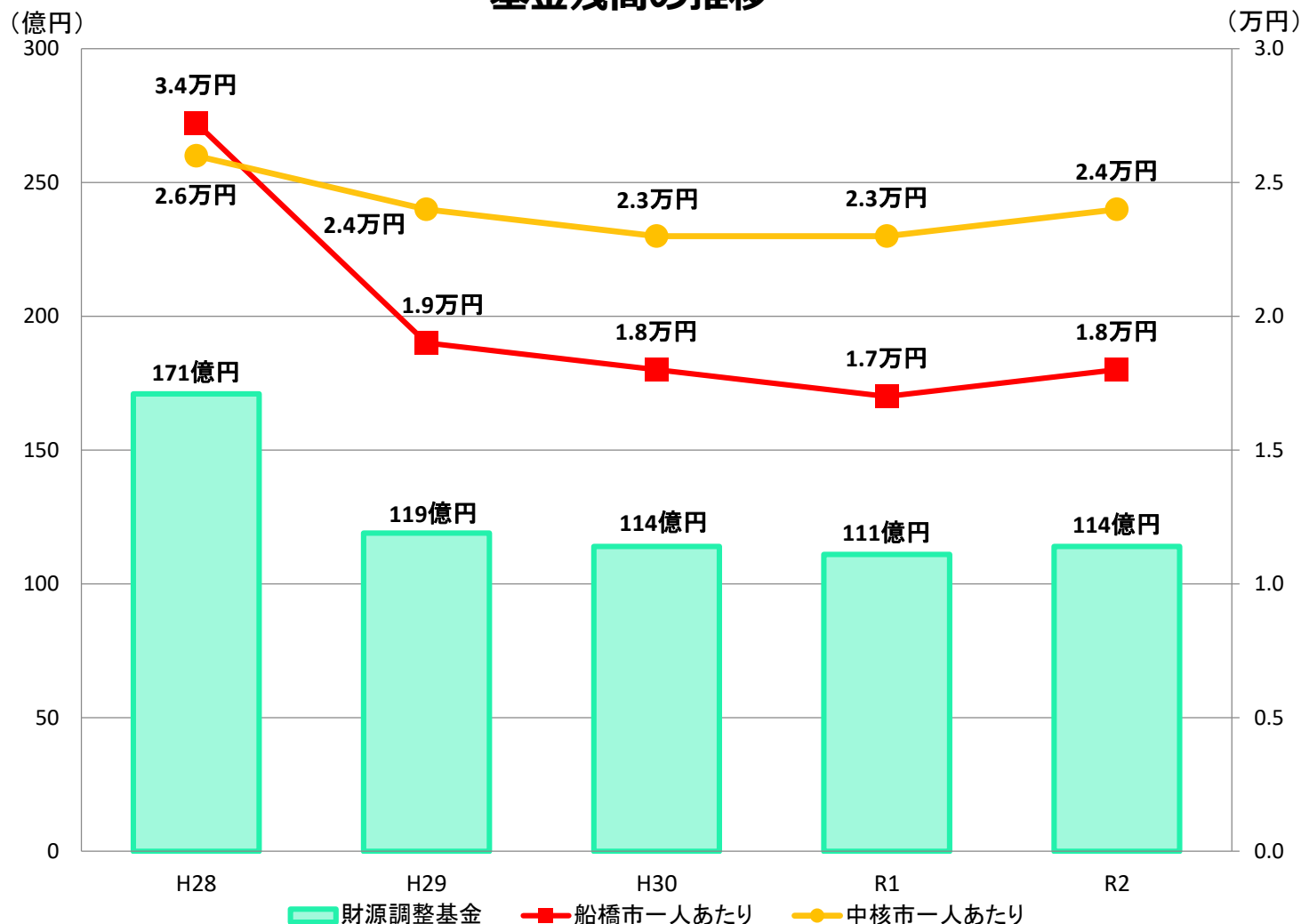
令和2年度の公債費の決算額は160億円（普通会計）で、人口1人あたりの金額は24,881円となります。これは全国の中核市62市（平均37,873円）の中で13番目に少ない額となっています。

近年の小・中学校の大規模改修や清掃工場の立替えのために借りた市債の返済により、平成28年度に120億円だった公債費は、令和2年度には160億円と急増し、大きな負担となっています。今後も公共施設の老朽化や長寿命化への対応を行う必要があり、公債費は170億円程度で推移する見込みです。そのため、引き続き普通建設事業の優先順位付けや、公債費が増加したときに備え積み立てた減債基金を計画的に取り崩す（引き出す）こと等で、公債費の負担が軽くなるように取り組んでいきます。

貯金はあるの？

市には、急激な収入の落ち込みや、災害復旧などの想定外の支出、また今後見込まれる公共施設の老朽化や少子高齢化社会への対応等に備えるための貯金があります。これを「財源調整基金」と言い、毎年、決算の時に余ったお金（剰余金）等から積み立てています。

基金残高の推移



財政状況の比較は「中核市同士」で

同じ自治体と言っても、村や町から人口が100万人を超える市まで様々です。自治体により必要とされる行政サービスが異なります。

また、政令指定都市や中核市は、都道府県が行う仕事の一部を行っているため、普通の市と比べると行っている仕事や必要となる財源が大きく異なります。そのため、財政状況を他市と比較するときには、船橋市と同じ中核市同士で比較します。

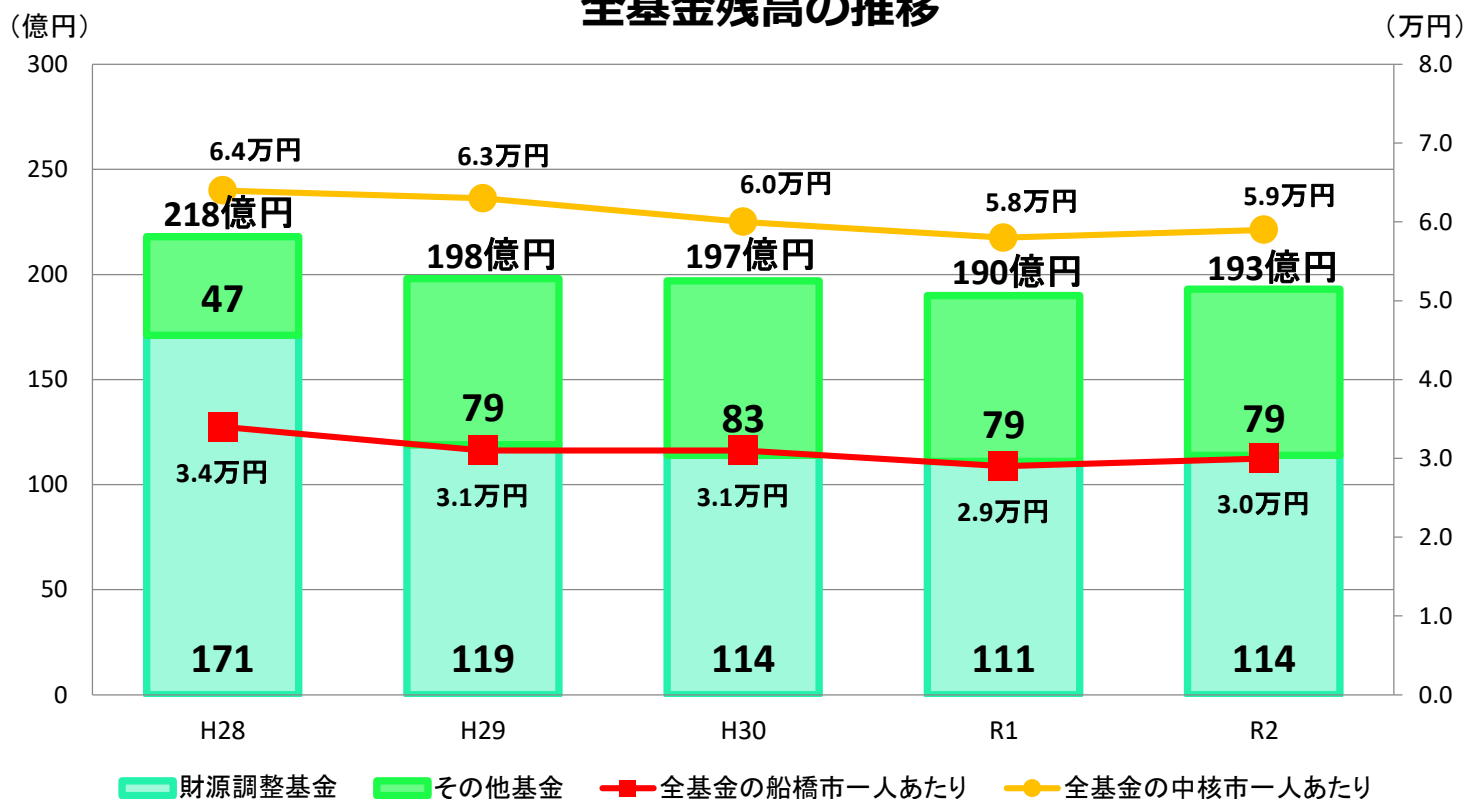
その他の貯金はどうなのがあるの？

財源調整基金以外にも、特定の目的のために使用する貯金（特定目的基金）や一定額の貯金そのものを原資として貸付等の事業を行うための貯金（定額運用基金）があります。

	基金の名称	目的
特定目的	職員退職手当基金	退職手当の財源に充てるため
	減債基金	市債の償還に必要な財源を確保するため
	公園緑地整備基金	公園の整備、緑の保全、緑化の推進を図るため
	福祉基金	地域福祉の増進に資するため
	一般廃棄物処理施設等整備基金	施設の整備に必要な資金を積み立てるため
	文化振興基金	文化の振興に資するため
	森林環境譲与税基金	森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため
	公共施設保全等基金	公共施設の計画的な保全や更新に必要な財源に充てるため
定額運用	高額療養費貸付基金	高額療養費の貸し付けのため
	文化芸術ホール事業基金	自主事業を円滑かつ効率的に行うため

船橋市の貯金額はどれくらい？

全基金残高の推移



中核市で比較すると、市民一人あたりの貯金は少ない方です。

財源調整基金では・・・

船橋市 1人あたり1.8万円
中核市 1人あたり2.4万円
船橋市 **39位** / 62市中

全基金では・・・

船橋市 1人あたり3.0万円
中核市 1人あたり5.9万円
船橋市 **51位** / 62市中

令和4年度予算の主要事業

令和4年度の予算は、長期に及んでいる新型コロナウイルス感染症への対策や、自治体DXに取り組むための経費を計上するとともに、公共施設保全等基金を新たに設置しました。そのほかの主要事業については、環境問題への対応や子どもたちの未来につながる施策など、本市の10年先を見据えた中で、今から取り組むべき新たな事業を中心に、第3次総合計画（※）基本構想の5つの「めざすまちの姿」ごとにご紹介します。

※第3次総合計画は「基本構想－基本計画－実施計画」で構成され、基本構想及び基本計画の計画期間は令和4年度から令和13年度までの10年間となっております。

〇新型コロナウイルス感染症対策事業

・新型コロナウイルス感染症予防接種（39億6879万円）

予防接種法に基づく臨時接種として、新型コロナウイルス感染症予防接種を実施します。



・新型コロナウイルス感染症対策事業（26億2087万円）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、相談、診療、検査等を実施するとともに、宿泊療養施設を運営します。

・患者受入病床確保の支援（74億1159万円）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れを行う医療機関を支援します。

〇自治体DXに向けた取り組み

・道路通報システムの導入（166万円）

LINEを通じて、道路の不具合の情報を通報してもらい、迅速な補修対応につなげることを目的とした道路通報システムを導入します。

・市民スマホコンシェルジュ養成講座（34万円）

ふなばし市民大学校において、市民スマホコンシェルジュ養成講座を新たに開催し、講座の修了生がスマートフォンの操作に悩みを持つ市民を地域でサポートする環境づくりを進めます。



〇公共施設保全等基金の設置

・公共施設保全等基金積立金（41億7973万円）

公共施設の保全に積極的に取り組むとともに、将来の大規模改修や建替に備え、新たに設置する公共施設保全等基金へ、令和3年度補正予算とあわせて約71億8000万円を積み立てます。

〇一人一人が自分らしく輝くまち

・ひとり親家庭高校生キャリア支援事業（2000万円）

ひとり親家庭の子どもたちの学習や進学、就労意欲の向上を図るため、児童扶養手当を受給している世帯の高校生等に対し、キャリア支援として自分の将来の夢ややりたいことを考えるきっかけとなるセミナー等の開催及び日常の学習をサポートします。

・「ふなっこ未来大学」^{フナバーシティ}（愛称 Funaversity）事業（30万円）

子どもたちがワクワクするような体験機会をより多く提供していくことで、「子どもたちが主体的に考え、学びに向かう力を育み、将来の夢や目標を持ち、自己肯定感を高めるきっかけとする」ことを目的として「ふなっこ未来大学」を開講します。令和4年度は、包括連携協定を締結している東邦大学の理学部と連携し、小学校6年生を対象に実験やフィールドワークなどを実施します。

○住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるまち

・一時生活支援事業（338万円）

一定の住居を持たない方を対象に、一時生活支援事業を新たに実施し、宿泊場所や食事の提供とともに、自立相談支援事業と連携して、利用者の自立に向けた就労支援などを行います。

・ヤングケアラー実態調査事業（445万円）

本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話を日常的に行うヤングケアラーの実態を把握するための調査を、小学4年生から中学3年生及び高校生などの子どもたちを対象に実施します。また、この調査を通じて認知度の向上を図るとともに、必要な支援体制の構築等を検討します。

○活力と魅力にあふれ、進化し続けるまち

・JR南船橋駅南口市有地活用事業（4億8903万円）

JR南船橋駅南口市有地が有する高いポテンシャルを活用し、臨海部の玄関口としてふさわしい拠点形成を含めた魅力的なまちづくりを実現するとともに、賑わいの創出や回遊性の向上を図るため、令和4年度は市有地の道路や駅前広場及び電線共同溝を整備するほか、官民連携による開発を推進します。

・海老川上流地区のまちづくり（6億4856万円）

海老川上流地区において、「ふなばしメディカルタウン構想」に基づくまちづくりを進めるほか、海老川上流地区土地区画整理組合への支援を行います。また、土地区画整理事業に併せ、東葉高速鉄道株式会社が実施する新駅の設計に要する費用を負担します。

○快適で豊かに暮らせる、人と環境にやさしいまち

・電気自動車購入費及びV2H設備設置費補助事業（625万円）

温室効果ガス排出量の削減及び非常時における自立電源確保のため、電気自動車及び、電気自動車への充電や電気自動車から住宅への給電を行う機器であるV2Hを購入した場合の費用の一部を助成します。

・歩道環境整備事業（2億8400万円）

歩行者の安全を確保するため、小栗原架道橋の東側に新たに歩道橋を設置して、歩行空間を創出するための工事を実施します。また、高根公園の駅前広場の改修に向けた詳細設計を行います。

○命と暮らしを守る強靱なまち

・マンホールトイレの整備（1200万円）

災害発生時の避難所におけるトイレ不足の解消とともに、避難者の衛生対策や健康保持のため、マンホールトイレの整備を推進します。令和4年度は大穴小学校及び七林小学校に5基ずつ整備します。

健全な財政の維持

持続可能な行財政運営を目指すために

市では平成31年に策定した行財政改革推進プランにおいて、令和元年度・2年度の2年間を集中取組期間とし、行財政改革（行革）の推進を図ってきました。

今後も社会情勢の変化や多様化していく市民ニーズに対応し、持続可能な行財政運営を目指すため、経営資源の最適化に向けた取り組みを行います。

2つの基本方針

1. 行政の経営資源を「最適化」する

- ◆財源（カネ）・人材（ヒト）・施設（ハコ）などの行政の限られた経営資源を効果的に運用
- ◆徹底的な無駄の排除による効率化を図る

2. 「時代の変化」をとらえる

- ◆時代の変化を的確にとらえ事業や仕事のこれまでのやり方を変えていく
- ◆多様化する市民ニーズ、高齢化のさらなる進行などの社会情勢の変化に対応

3つの推進項目



組織の最適化
人件費の抑制
業務執行体制の見直し

限られた人材を効率的に運用するため、業務執行体制の見直しを行い、組織の最適化を図る



事業の
検証と見直し

限られた財源を効率的に運用するため、時代の変化・利用状況の増減・トータルコスト等を踏まえ、事業の検証・見直しを行い、事業の最適化を図る



公共施設の
最適化

限られた資産を効率的に運用するため、ファシリティマネジメントを推進し、建築物のライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化を図る

安心安全な公共施設の利用のために

公共施設保全等基金の設置

市の公共施設は、昭和40年代の急激な人口増加に伴い整備されたものが多く、今後、老朽化による改修や更新費用が多額になることが見込まれています。

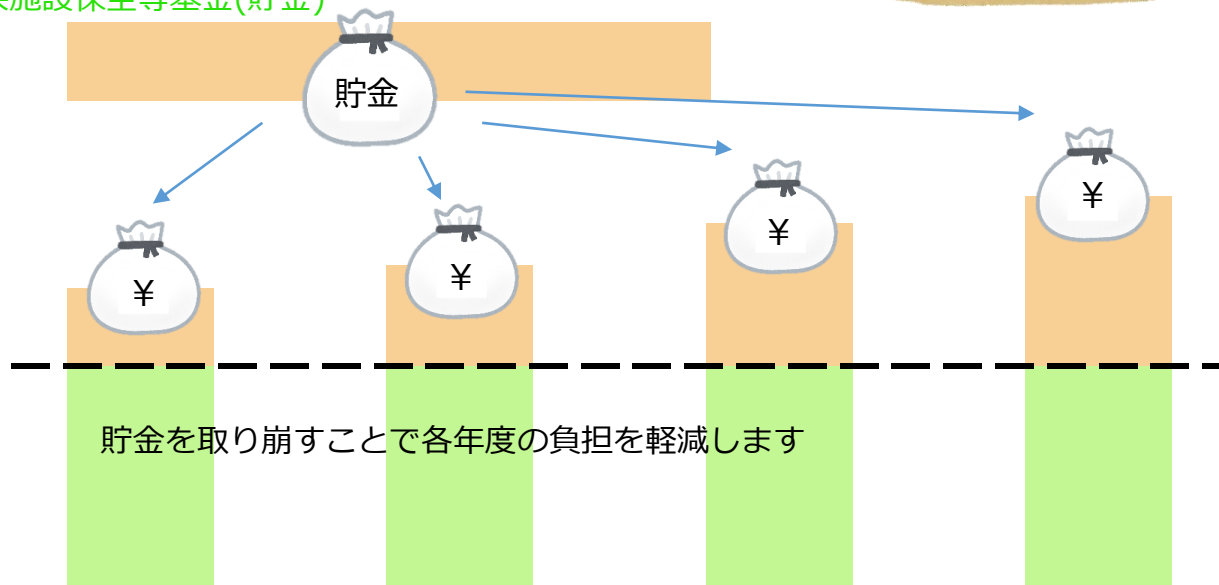
市民の方が将来にわたり、安全安心に公共施設を利用できるようにするためには、公共施設の計画的な保全や更新に必要な財源を確保していく必要があります。このため、市では「公共施設保全等基金」を設置しました。

基金の活用

公共施設の改修等に必要な一般財源が各年度一定となるように基金を取り崩す（引き出す）ことで、景気悪化により市税等の収入が減った時でも、必要な改修を行うことができます。



公共施設保全等基金(貯金)



基金の財源

J R南船橋駅南口市有地売払い収入や貸付料などを財源に、令和3年度、令和4年度予算で約71億8000万円を積み立てます。令和5年度以降も未利用地の売払い収入などを積み立てていきます。



市では、（公益）千葉県市町村振興協会から「サマージャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボ宝くじ」の収益金の配分を受けています。

宝くじの収益金は、都道府県別の販売実績額などによって配分されるので、購入は、千葉県内の宝くじ売り場で!!



船橋市の財政に関する詳しい情報は、市のホームページでもご覧いただけます。
アドレス <https://www.city.funabashi.lg.jp/>

トップページ



市政・市の紹介



財政（予算・決算）

令和4年4月